

記入日:令和4年1月～2月

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	・部屋があまりに混雑する場合は、場所を変える等の工夫ができています。 ・密だと感じる時がある。 ・朝のミーティング等で話し合っている。 ・朝を遵守したスペースは確保しています。 ・同じ時間帯の利用人数や子どもの活動によって密になることもありますが、子どもの自主性を尊重するため空間利用の規制はしにくい状態です。 ・今後も状況の中で適切な対応方法を検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	1	・常勤の指導員が欲しい。 ・余裕はありません。 ・法令で必要とされる人員を配置し、社会福祉士、特別支援学校教諭免許取得者など児童・特別支援分野での経験と専門性の高いスタッフを配置しています。 ・今後、常勤スタッフを増員する予定です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	・バリアフリー化しにくい現状。 ・個人の住宅を利用しているのでバリアフリーにはなっていません。 ・施設の構造上(戸建て民家)、全面的なバリアフリー化は難しいですが、工夫できるところは改善を実施しています。 ・興味のある物をすぐにとり出せるようにおもちゃ等の整理をしています。階段には子ども用手すりを設置する等の工夫をしています。
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		・毎朝アルコール消毒、療育ごとに必要な消毒を行っている。 ・掃除、消毒、換気、加湿等感染予防対策をすくと共にご利用者が心地よく過ごせるよう常に配慮しています。	
5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	5		・必要に応じて随時話し合われています。 ・PDCAサイクルを心がけ、活動前後に職員間で振り返りや情報共有を行っています。	
6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		日頃より保護者とコミュニケーションを取るよう心がけ、今後も継続して保護者の方々の意向の把握に努めていきます。	
7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		結果は毎年ホームページで公開しています。過去の結果も同時に閲覧できるようになっています。ご利用者様全員に評価結果を配布し、結果の共有を図っています。	
8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		・第三者の評価には至っていません。 ・現在は利用者や社内の評価のみとなっておりますが、今後は法人全体で外部評価の実施を検討していきます。	
9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・研究所が通年で行っているリモート研修の内容を録音し、スタッフ全員の研修に活用しています。 ・関西発達臨床研究所を併設しておりますので、所長はじめ経験豊かな職員が適時療育に同席してスーパーバイスを行っています。 ・スーパーバイス(療育場面の同席、振り返り等)を適時実施しています。	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		・完全個別対応で常に保護者が同行して下さっている状況のため、子どもたちの様子や保護者のニーズを把握しつうで支援計画を作成するよう心がけています。利用者が発達センターや医療機関で行った検査結果を持参いただき、発達状況を把握しています。 ・計画案をスタッフ全員で検討するミーティングを設けています。	
11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4	標準化されたツールでは把握することが難しいご利用者様もいらっしゃるため、スタッフ全員で話し合って多角的なアセスメントができるよう心がけています。	
12 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	個別対応のため、基本的には担当者がプログラムを組み立てますが、ミーティング等では担当以外のスタッフも自由に意見を言い、支援内容や進め方等の検討・情報共有を行っています。	
13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・個別の支援で、児童の興味関心に沿って活動している。 ・日々の特性に合わせた支援内容を計画し、状況に合わせて変化させています。	
14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3	個別支援で児童の興味関心に沿って活動しているため、特に設定の変更は行っていません。	
15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	5		放課後等デイサービスについては月1回課題別集団教育を実施しています。個別で身につけた力を集団の中で活かすことができるよう課題設定をしています。	
16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		毎朝、職員ミーティングを行い、1日の流れやそれぞれの担当を確認しています。	
17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	・個別のため課題となることへの対応等は都度相談しています。 ・支援終了後にはそのような時間を持つことができないことも多いですが、翌日以降に共有しています。特に困っているところ、改善点は積極的に共有し改善できるように努力しています。	
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		・支援終了後に各担当で支援記録をとることを徹底しています。 ・課題となることへの対応の仕方やその日感じた問題を都度相談したり報告しています。	
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		概ね6か月に1度、支援計画の見直しを行っています。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5		開催された場合には児童発達支援管理責任者や療育担当者が出席しています。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	3	送迎は行ってないため、保護者との情報共有を主としています。	
22 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	必要に応じて情報共有を行っています。	
23 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	まだ移行した利用者はいませんが、必要に応じて情報提供等を行います。	
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5		各関係機関と常に情報共有・連携しながら支援を行っています。	
25 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5		主治医や協力医療機関と常に連絡が取りあえる体制を整えています。	
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	以前は関係機関も含めたケース会議を入学前後に開催し、情報共有と相互理解を図っていましたが、感染予防のため昨年来実施できていません。リモートでの引継ぎ会議等を検討します。	
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		関係諸機関と常に連絡が取りあえる体制を整えています。	
28 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5		当事業所と利用しながら保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等に通われているご利用者様が大半のため、今後も特に交流等を行う予定はありません。	
29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	5		大和郡山市自立支援協議会教育部会や部会主催の父母の会等に積極的に参加し、意見交換や助言を受けています。	
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・必要に応じてご利用者様の状況や特性について、支援内容について等の情報を共有しています。 ・関係機関も含めたケース会議を入園後に開催し、情報共有と相互理解を図っています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	2	3	・ペアレントトレーニングは開催できていません。 ・感染予防の観点から開催することができませんでしたが、今後法人全体で保護者に対しての取り組みができるよう検討・計画していく予定です。	

チェック項目		2021	2022	工夫している点、課題や改善すべき点など	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に説明を行っております。また、不明な点については都度、スタッフから説明するようにしています。	
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・定期ではないが、情報があれば実施しています。 ・活動や連絡体制等については、来所時に直接保護者の皆様にお伝えしています。ホームページも随時更新していますので保護者の方々への周知を心がけます。	
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		・保護者会を開催できていません。 ・今年度も感染予防の観点から開催することができませんでしたが、今後リモートで保護者の皆様と交流できる場を検討・企画したいと思っています。	
	35 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。	
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3	・定期ではないが、情報があれば実施しています。 ・活動や連絡体制等については、来所時に直接保護者の皆様にお伝えしています。ホームページも随時更新していますので保護者の方々への周知を心がけます。	
	37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		個人情報の取扱いについては、見直し・改善を常に行っています。	
	38 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		わかりやすい伝達方法を工夫しています。	
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		・事業所内で招待できる行事を行っていません。 ・地域の方々とは日頃からコミュニケーションをとり、事業所運営にご理解いただけるよう心がけています。	
	非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	・訓練の実施はないが、マニュアルは良く見える場所に掲示されており、確認している。 ・職員間での訓練実施については今後検討・計画していきます。 ・各種マニュアルの策定を行い、職員や保護者への周知を図っています。訓練の実施については利用者の方々の状況も考慮の上、検討していきます。
		41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		・訓練の実施はないが、マニュアルは良く見える場所に掲示されており、確認している。 ・職員間での訓練実施については今後検討・計画していきます。 ・各種マニュアルの策定を行い、職員や保護者への周知を図っています。訓練の実施については利用者の方々の状況も考慮の上、検討していきます。
42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		5		契約前の面談時に相談受付票を保護者の方に記入いただき、服薬等について把握しています。また必要に応じて療育中や前後で聞き取りを行っています。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		1	5	・事例集はないが、毎朝のミーティングで共有している。 ・当てはまる事例がない。 ・現状ヒヤリハットの事象はないが、あれば共有します。 ・事例集はないが、気づくことがあれば共有しています。 ・事象があった場合には記録し、ミーティングを通して事象の大小に関わらず職員で共有しています。事例集作成については、必要性があれば今後作成するか検討していきます。	
44 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		自治体が開催する虐待防止に関する研修会に積極的に参加し、スタッフ全員に研修内容の周知を図っています。		
45 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		・身体拘束をする状況が見当りません。どうしても必要になれば検討します。 ・身体拘束することはありません。・開所時から現在まで対象となる児童はいません。今後も身体拘束以外の対応方法はないのか法人全体で検討できる体制を整え、議論していきたいと思っています。		